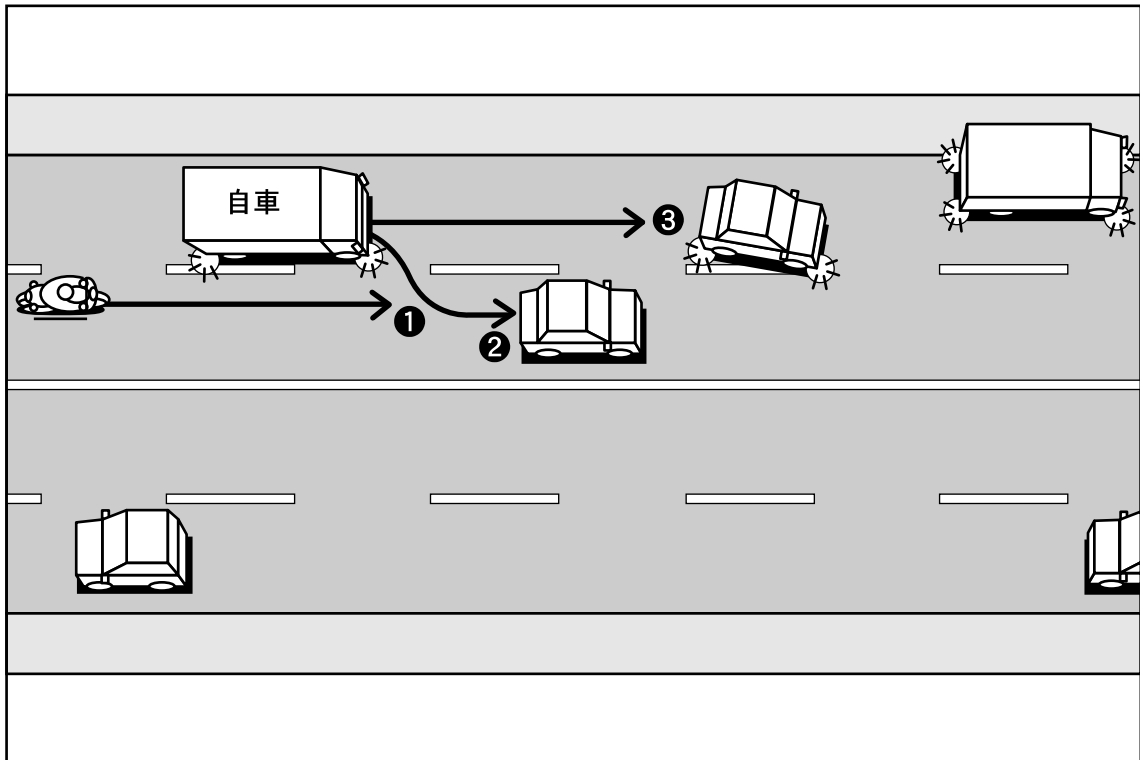


〔トラック 1〕 片側 2 車線の道路を走行



1. 主な危険要因の例

- ① 後方の状況を確認せずに右側に進路変更をすると、後続の二輪車と接触する危険がある。
- ② 前車が進路変更しようとしているため、右前方の車が減速すると、自車が進路変更した際に追突する危険がある。
- ③ 進路変更するために減速や停止をした前車に気付くのが遅れると、前車に追突する危険がある。

2. 安全運転の例

- ① 単路でも、いつ前車が進路変更などのために減速や停止をするかわからないので、常に車間距離を保持しておく。
- ② 進路変更するときは、必ず後続車の有無を確認するとともに、後続車があるときは、決して強引な進路変更はしない。

3. 乗務員指導のポイント

- ① 単路でも、進路変更などのために減速や停止などの変化があるので、油断は禁物で、常に周囲の状況に目を配る必要があることを認識させる。
- ② 特に前方に駐車車両のある場所では、車の流れに変化が起こりやすいので、前方や後方の状況に注意するよう指導する。
- ③ 進路変更するときは、必ず後方の確認をするとともに、自車は大型車だから相手が譲ってくれるだろうと考えて強引な進路変更することは絶対にしないよう指導する。